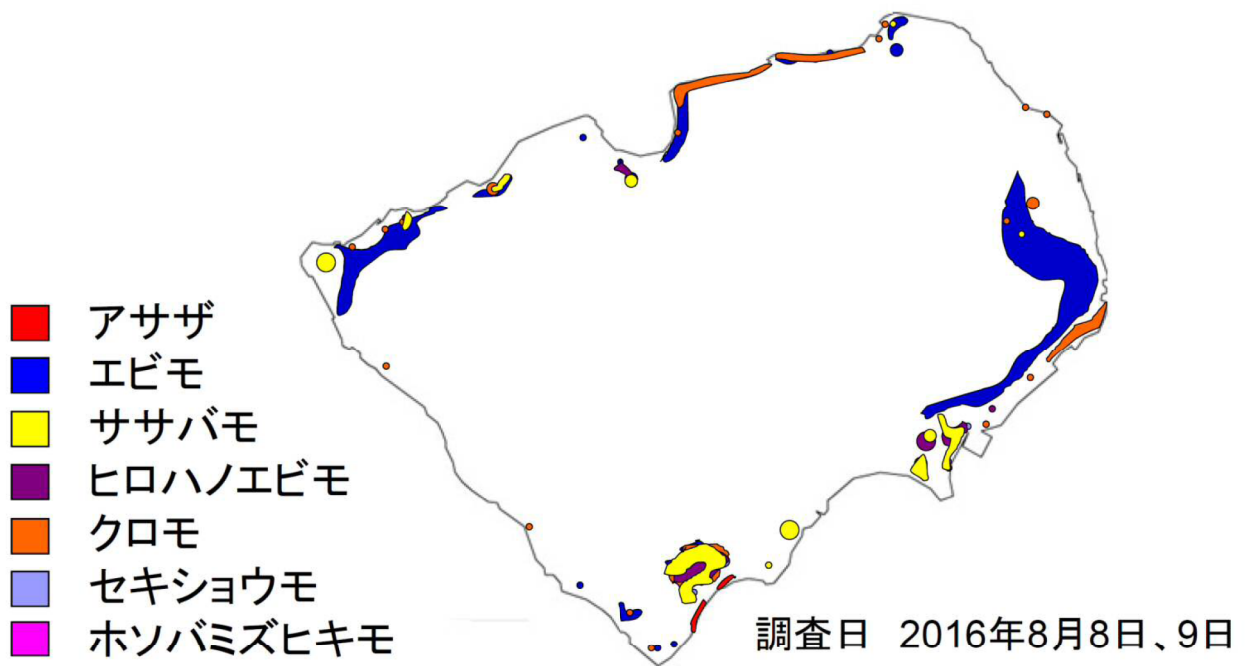


平成 29 年 7 月 21 日  
関東地方整備局 長野国道事務所

### 諏訪湖における水草類の既往調査データについて

- ・ 諏訪湖における水草類の調査は、長野県水産試験場諏訪支場において、環境省の委託業務の湖沼底層溶存酸素量・沿岸透明度改善モデル事業(長野県諏訪湖)の一環として、平成 25 年以降毎年実施している。平成 29 年も実施予定である。
- ・ ヒシを主対象としているが、ヒシ以外の浮葉、沈水植物についても生育を記録しており、湖内における分布は概ね把握できている。(2・3 ページ参照)
- ・ 調査範囲：諏訪湖の水深 3m 程度までの沿岸全域。
- ・ 調査時期：水草類の最盛期として、7 月下旬～8 月上旬に 1 回。
- ・ 調査方法：船上からの目視観察で水生植物が観察された位置を GPS で計測。群落を形成している場合にはその外縁の位置を計測。

・諏訪湖における平成 28 年の水草類の分布状況（ヒシ以外）



出典：長野県水産試験場諏訪支場提供資料（平成 28 年度湖沼底層溶存酸素量・沿岸透明度改善モデル事業(長野県諏訪湖)委託業務報告書）

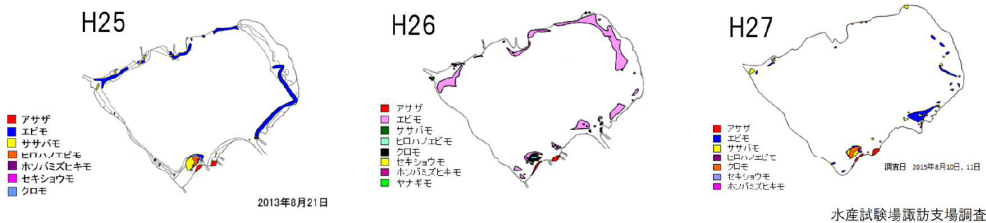
## 4 ヒシの繁茂状況

◇ヒシは例年、承知川河口域～諏訪市湖畔公園、新川河口域に多く繁茂。  
 ◇ヒシ以外で群落が確認されたのは7～8種。うち最も分布域が広がったのでエビモ。  
 ◇豊田沖の自然植生区は、特に水生植物の多様性が高い場所である。

### 最大繁茂時期のヒシの分布



### ヒシ以外の浮葉、沈水植物群落の分布



出典：第1回「諏訪湖環境改善に係る専門家による検討の場」 資料 4-2 植生の保全 ページ 4

<http://www.pref.nagano.lg.jp/mizutaiki/kurashi/shizen/suishitsu/suwakosenmonnka/1suwakosenmonnka.html>